

5 花き
 1) 花き類、観葉植物
 (1) 農業の使用方法
 ○花き類、観葉植物 (種子消毒)

FRAC コード	有効成分名	薬剤名	希釈倍数・使用 量	使用時期	使用 回数	ビ シ ウ ム ・ リ ゾ ク ト ニ ア 菌 に よ る 病 害 (苗 立 枯 病 等)	リ ゾ ク ト ニ ア 菌 に よ る 病 害 (苗 立 枯 病 等)	フ ザ リ ウ ム ・ リ ゾ ク ト ニ ア 菌 に よ る 病 害 (苗 立 枯 病 等)	備 考
7	フルトラニル	モンカット水和剤	種子重量の0.5 ～1.0%	は種前	1		○		種子処理機による種子粉衣、花き類 での登録
7	メブロニル	バシタック水和剤75	乾燥種子重量の 0.4%	は種前	1		○		種子処理機による種子粉衣、花き類 での登録
M4	キャプタン	オーソサイド水和剤80	種子重量の0.2 ～0.4%	は種前	1	○			種子処理機による種子粉衣
M3/1	チウラム／チオファネー トメチル	ホーマイ水和剤	種子重量の1.0%	は種前	1		○		種子処理機による種子粉衣、花き類 での登録

○花き類・観葉植物 (殺菌剤)

FRAC コード	有効成分名	薬剤名	希釈倍数・使用 量	使用時期	使用 回数	灰 色 か び 病	う ど ん こ 病	菌 核 病	黒 斑 病	苗 立 枯 病	立 枯 病	茎 腐 病	株 腐 病	白 絹 病	備 考
1	チオファネートメチル	トップジンM水和剤	1500倍	－	5			○							
7	フルトラニル	モンカットフロアブル40	1000～2000倍	－	3									○	株元散布
9	メバニピリム	フルピカフロアブル	2000～3000倍	発病初期	5	○									ばら、スター、宿根かすみそう、ゆり、りんどうを除く
14	トルクロホスメチル	リゾレックス水和剤	500～1000倍	生育期	5						○	○	○		土壌灌注 立腐病、茎腐病、株腐病のみ採用
14	トルクロホスメチル	リゾレックス粉剤	50kg/10a	定植前	1						○				土壌混和
19	ポリオキシン複合体	ポリオキシンAL水溶剤	2500倍	発病初期	8	○	○		○						
NC	炭酸水素カリウム	カリグリーン	800倍	発病初期	－		○								きくを除く
M1	D B E D C	サンヨール	500倍	発生初期	8	○	○								きく、ばら、ヘチマ、スター、プリムラ、ハンジューを除く
M4	キャプタン	オーソサイド水和剤80	600倍	－	8					○	○	○			ばら、りんどう、せんにちこう、コスモ、ひまわり、ジカリア、スイート、みやこわずれ、アサガハ、斑入りアサガハを除く
－	ソルビタン脂肪酸エステル	ムシラップ	500倍	発生初期	－		○								
10/1	ジエトフェンカルブ／チ オファネートメチル	ゲッター水和剤	1000倍	－	5	○									ひまわり、ビラコムを除く
M10、 I:UN	キノキサリン系	モレスタン水和剤	2000～3000倍	発病初期	10		○								カーネーションを除く

注) 同名の剤であっても農業会社によっては登録内容が異なることもあるので、使用する際は農業の容器 (袋) のラベルを確認する。

5 花き・花木類

1) 花き類、観葉植物

○花き類・観葉植物（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	ア オム シ	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	オ オ タ バ コ ガ	オ ン シ ツ コ ナ ジ ラ ミ	カ ブ ラ ヤ ガ	カ メ ム シ 類	キ ン ケ ク チ フ ト ソ ウ ム シ	コ ナ ジ ラ ミ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ハ ダ ニ 類	バ ッ タ 類	ハ マ キ ム シ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	ミ カ ン キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	ヨ ト ウ ム シ 類	備 考
1A	ペンフラカルブ	オンコル粒剤5		①															防除指針では「アザミウマ類」を掲載。
1B	MEP	スミチオン乳剤	○											○	○				防除指針では「アオムシ」、「バッタ類」、「ハマキムシ類」を掲載。
1B	アセフェート	オルトラン水和剤	○	○	○													○	防除指針では「アオムシ」、「アザミウマ類」、「アブラムシ類」、「ヨトウムシ類」を掲載。
1B	アセフェート	オルトラン粒剤		③	③													③	防除指針では「アザミウマ類」、「アブラムシ類」、「ヨトウムシ類」を掲載。
1B	イソキサチオン	カルホス乳剤					④												防除指針では「オンシツコナジラミ」を掲載。
1B	イソキサチオン	カルホス微粒剤F						○											防除指針では「カブラヤガ」を掲載。
1B	プロチオホス	トクチオン乳剤		⑤															防除指針では「アザミウマ類」を掲載。
1B	マラソン	マラソン乳剤		○	○														防除指針では「アザミウマ類」、「アブラムシ類」を掲載。
1B	マラソン	マラソン乳剤50			○														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
2A	ジェノクロル	ペンタック水和剤											⑥						防除指針では「ハダニ類」を掲載。
3A	フェンプロパトリン	ロディー乳剤			○								○						防除指針では「アブラムシ類」、「ハダニ類」を掲載。ナミハダニには効果がない。
3A	ベルメトリン	アディオン乳剤						⑦							⑦			⑦	防除指針では「カメムシ類」、「ハマキムシ類」、「ヨトウムシ類」を掲載。
4A	アセタミブリド	モスビラン顆粒水溶剤			⑧														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	イミダクロプリド	アドマイヤー1粒剤			⑨														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	イミダクロプリド	アドマイヤーフロアブル			⑩														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	イミダクロプリド	ブルースカイ粒剤			○														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	ジノテフラン	アルバリン顆粒水溶剤			⑩														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	ジノテフラン	アルバリン粒剤			⑪														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	ジノテフラン	スタークル顆粒水溶剤			⑪														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	ジノテフラン	スタークル粒剤			⑪														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	チアメトキサム	アクタラ顆粒水溶剤															⑫		防除指針では「アザミウマ類」を掲載。
4A	チアメトキサム	アクタラ粒剤5			○												⑫		防除指針では「ハマグリバエ類」を掲載。
4A	ニテンピラム	ベストガード水溶剤									⑬								防除指針では「コナジラミ類」を掲載。
4A	ニテンピラム	ベストガード粒剤			⑭														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
5	スピネトラム	ディアナSC		⑮	⑮												⑮		防除指針では「アブラムシ類」、「オオタバコガ」、「ハマグリバエ類」を掲載。
6	アバメクテン	アグリメック											⑯						防除指針では「ハダニ類」を掲載。
6	エマメクテン安息香酸塩	アフーム乳剤		○	○											○	○		防除指針では「アザミウマ類」、「オオタバコガ」、「ハマグリバエ類」、「ヨトウムシ類」を掲載。
7C	ピリプロキシフェン	ラノーテープ									⑰								防除指針では「コナジラミ類」を掲載。
9B	ビメトロジン	チェス顆粒水和剤			○						○								防除指針では「アブラムシ類」、「コナジラミ類」を掲載。
10A	ヘキシチアゾクス	ニッソラン水和剤											○						防除指針では「ハダニ類」を掲載。ナミハダニには効果がない。
10B	エトキサゾール	バロックフロアブル											○						防除指針では「ハダニ類」を掲載。
12D	テトラジホン	テデオ水和剤											○						防除指針では「ハダニ類」を掲載。
12D	テトラジホン	テデオ乳剤											○						防除指針では「ハダニ類」を掲載。
13	クロルフェナビル	コテツフロアブル											⑱					⑱	防除指針では「ハダニ類」、「ヨトウムシ類」を掲載。
15	テフルベンズロン	ノーモルト乳剤																○	防除指針では「ヨトウムシ類」を掲載。
21A	テブフェンピラド	ピラニカEW											⑲						防除指針では「ハダニ類」を掲載。ナミハダニには効果がない。
25A	シフルメトフェン	ダニサラバフロアブル											○						防除指針では「ハダニ類」を掲載。
28	フルベンジアミド	フェニックス顆粒水和剤											⑳						防除指針では「ハスモンヨトウ」を掲載。
-	スタイナーネマ カーボカブサエ	バイオセーフ								㉒									防除指針では「キンケクチフトソウムシ」を掲載。
-	ソルピタン脂肪酸エステル	ムシラップ			○								○						防除指針では「アブラムシ類」、「ハダニ類」を掲載。
-	ヒドロキシプロピルデンブン	粘着くん液剤											○						防除指針では「ハダニ類」を掲載。
-	還元澱粉糖化物	エコビタ液剤			○														防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
-	脂肪酸グリセリド	アーリーセーフ											○						防除指針では「ハダニ類」を掲載。
-	脂肪酸グリセリド	サンクリスタル乳剤											○						防除指針では「ハダニ類」を掲載。

5 花き・花木類
1) 花き類、観葉植物

○花き類・観葉植物（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	ア オム シ	ア ザ ミ ウ マ 類	ア ブ ラ ム シ 類	オ オ タ バ コ ガ オ ン シ ツ コ ナ ジ ラ ミ	カ ブ ラ ヤ ガ	カ メ ム シ 類	キ ン ケ ク チ ブ ト ゾ ウ ム シ	コ ナ ジ ラ ミ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ハ ダ ニ 類	ハ ッ タ 類	ハ マ キ ム シ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	ミ カ ン キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	ヨ ト ウ ム シ 類	備考
21A, F:39	トルフェンピラド	ハチハチフロアブル		○														防除指針では「アザミウマ類」を掲載。ばらでは 薬害が発生する
F:M1	D B E D C	サンヨール			㉑							㉑						防除指針では「アブラムシ類」、「ハダニ類」を 掲載。
1B/1B	マラソン／MEP	スミソン乳剤			○													防除指針では「アブラムシ類」を掲載。

①花き類・観葉植物（カーネーション、宿根かすみそう、ほおずきを除く）での登録
②花き類・観葉植物（プリムラ、シクラメン、すいせん、チューリップ、ゆりを除く）での登録
③花き類・観葉植物（きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウム、たであいを除く）での登録
④花き類・観葉植物（きく、ガーベラ、シクラメン及びアジアンタムを除く）での登録
⑤花き類・観葉植物（ばら、きく、プリムラ、シクラメン、ペゴニア、宿根かすみそうを除く）での登録
⑥花き類・観葉植物（施設栽培）（カーネーション、ばらを除く）での登録
⑦花き類・観葉植物（はぼたんを除く）での登録
⑧花き類・観葉植物（ストック、りんどうを除く）での登録
⑨花き類・観葉植物（きく、ばら、ペチュニア、レザーファンを除く）での登録
⑩花き類・観葉植物（きくを除く）での登録
⑪花き類・観葉植物（きく、ガーベラを除く）での登録
⑫花き類・観葉植物（宿根アスター、トルコギキョウ、きくを除く）での登録
⑬花き類・観葉植物（きく、ばらを除く）での登録
⑭花き類・観葉植物（きく、きんせんかを除く）での登録
⑮花き類・観葉植物（りんどうを除く）での登録
⑯花き類・観葉植物（ガーベラを除く）での登録
⑰花き類・観葉植物（施設栽培）での登録
⑱花き類・観葉植物（きく、ストックを除く）での登録
⑲花き類・観葉植物（カーネーション、きくを除く）での登録
⑳花き類・観葉植物（きく、りんどうを除く）での登録
㉑花き類・観葉植物（きく、ばら、ペチュニア、スターチス、プリムラ、パンジーを除く）での登録
㉒キンケクチブトゾウムシ幼虫での登録
注）同名の剤であっても農業会社によっては登録内容が異なることもあるので使用する際は農業の容器（袋）のラベルを確認する。

5 花き

1) き く

(1) 耕種的防除法等

病害虫名	防除適期	防 除 方 法	備 考
うどんこ病	植付前 生育中	○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 施設栽培では特に通風をよくする。	
褐 斑 病	植付前 植付時 生育中	○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 密植を避ける。 ○ 病葉は早めに摘み取る。 ○ 摘心直後の降雨は発生を早める。	○ダコニール1000は花卉に薬剤が付着すると漂白退色などによる斑点を生ずる場合があるので着色期以降の散布は避ける。
菌 核 病	生育中	○ 発病株は抜き取り、適切に処分する。	
黒 さ び 病	植付前 植付時 生育中	○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 無病苗を植付ける。 ○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ ハウス内の換気を図り多湿を避ける。 ○ 露地では、降雨の多い場合雨よけをする。 ○ 病葉は早めに摘み取り、適切に処分する。	
黒 斑 病	植付時 生育中	○ 密植を避ける。 ○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 罹病葉は早めに摘み取る。 ○ 摘心直後の降雨は発生を早める。	○ダコニール1000は花卉に薬剤が付着すると漂白退色などによる斑点を生ずる場合があるので着色期以降の散布は避ける。 ○ストロビーフロアブル使用時には浸透性を高める展着剤の使用は避ける。
立 枯 病	植付前 生育中	○ 土壌消毒を行う(「土壌消毒」の項 参照)。 ○ 発病株は抜き取り、適切に処分する。	
花 腐 病	生育中	○ 発病株は見つけ次第取り除き、適切に処分する。	
半身萎凋病	植付前	○ 連作を避ける。 ○ 土壌消毒を行う(「土壌消毒」の項 参照)。 ○ 発病株から挿穂や冬至芽を取らない。 ○ 発病株は抜き取り、適切に処分する。	
白 さ び 病	植付前 植付時	○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 無病苗を植付ける。 ○ ハウス内の換気を図り多湿を避ける。 ○ 露地では降雨の多い場合雨よけをする。 ○ 罹病葉は早めに摘み取り、適切に処分する。	○サプロール乳剤は、品種によって薬害が生じる場合があるので注意する。クムラスは高温時には使用しない。 ○コロナフロアブルは収穫間近の散布は避ける(葉の汚れ)。 ○チルト乳剤25は野菜(とくに幼苗期)にかかると、生育抑制や縮葉などの薬害を生じるおそれがあるので周辺に栽培されている野菜へは飛散しないよう十分注意する。 ○メジャーフロアブルは、着蕾期以降に使用すると薬害を生じるおそれがあるので使用しない。

(2) 農薬の使用法

○きく (殺菌剤)

FRAC コード	有効成分名	薬剤名	うどんこ病	褐斑病	黒さび病	黒斑病	白さび病	備考
1	チオファネートメチル	トップジンM水和剤		○				
39	ジフルメトリム	ピリカット乳剤					○	●白さび病のみ採用
7	インビルフルキサム	カナメフロアブル					○	
7	ピラジフルミド	パレード20フロアブル					○	●白さび病のみ採用
7	ベンチオピラド	アフェットフロアブル					○	●白さび病のみ採用
7	メブロニル	バシタック水和剤75					○	
11	アゾキシストロビン	アミスター20フロアブル					○	
11	クレソキシムメチル	ストロビーフロアブル				○	○	●黒斑病、白さび病のみ採用
11	ビコキシストロビン	メジャーフロアブル					○	
11	ピラクロストロビン	オペラフラワー乳剤					○	
3	イミベンコナゾール	マネージ乳剤			○		○	
3	トリフルミゾール	トリフミンジェット					○	
3	トリフルミゾール	トリフミン水和剤					○	●白さび病のみ採用
3	トリフルミゾール	トリフミン乳剤					○	
3	トリホリン	サブロール乳剤					○	
3	プロピコナゾール	チルト乳剤25					○	
3	ヘキサコナゾール	アンビルフロアブル					○	●白さび病のみ採用
3	ミクロブタニル	ラリー乳剤					○	
19	ポリオキシシン複合体	ポリオキシシンAL乳剤	○					
M1	DBEDC	サンヨール	○	○			○	●うどんこ病、褐斑病、白さび病のみ採用
M5	TPN	ダコニール1000		○		○		●褐斑病、黒斑病のみ採用
39、 I:21A	トルフェンピラド	ハチハチ乳剤					○	
M2、 I:UN	硫黄	硫黄粒剤					○	
M2、 I:UN	硫黄	クムラス					○	
M2、 I:UN	硫黄	コロナフロアブル					○	
M3、 I:UN	マンゼブ	ジマンダイセンフロアブル					○	
M10、 I:UN	キノキサリン系	モレスタン水和剤	①					●花き類・観葉植物（カーネーションを除く）での登録

①花き類・観葉植物（カーネーションを除く）での登録

○きく (殺虫剤)

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	(殺虫剤)														備考
			オオタバコガ	ウスモンミドリカスミカメ	カスミカメ類	カンザワハダニ	ナミハダニ	ハモグリバエ類	アシクロハモグリバエ	トマトハモグリバエ	マメハモグリバエ	ミカンキイロアザミウマ類	モモアカアブラムシ	その他のアブラムシ	フタアブラムシ	ヨトウムシ類	
1A	アラニカルブ	オリオン水和剤 4 0										③	③	③		防除指針では「アブラムシ類」を掲載。	
1A	ベンフラカルブ	オンコル粒剤 5									○					防除指針では「アザミウマ類」を掲載。	
1B	M E P	スミチオン乳剤	④	④										③	○	防除指針では「カメムシ類」、「アブラムシ類」、「ヨトウムシ類」を掲載。	
1B	P A P	エルサン乳剤												⑤		防除指針では「キクヒメヒゲナガアブラムシ」を掲載。	
1B	アセフェート	オルTRAN水和剤	○							○						防除指針では「オオタバコガ」、「マメハモグリバエ」を掲載。	
1B	イソキサチオン	カルホス乳剤								○						防除指針では「マメハモグリバエ」を掲載。	
1B	プロチオホス	トクチオン乳剤								⑥				③		防除指針では「アザミウマ類」、「アブラムシ類」を掲載。	
3A	アクリナトリン	アーデント水和剤								○				③		防除指針では「ミカンキイロアザミウマ」、「アブラムシ類」を掲載。	
3A	シベルメトリン	アグロスリン乳剤												③		防除指針では「アブラムシ類」を掲載。	
3A	フルバリネート	マブリック水和剤 2 0												③		防除指針では「アブラムシ類」を掲載。	
4A	アセタミプリド	モスピラン顆粒水溶剤									⑦	⑦				防除指針では「アザミウマ類」を掲載。	
4A	アセタミプリド	モスピラン粒剤									○					防除指針では「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。	
										⑥	⑥	③	③		防除指針では「アザミウマ類」、「アブラムシ類」を掲載。		
						⑧	⑧	⑧	⑧						防除指針では「ハモグリバエ類」を掲載。		
4A	クロチアニジン	ダントツ水溶剤							⑧	⑧	⑧	⑧	⑥	⑨	⑨	⑨	防除指針では「ハモグリバエ類」、「アザミウマ類」、「アブラムシ類」を掲載。
4A	クロチアニジン	ダントツ粒剤									○	⑥	⑥				防除指針では「マメハモグリバエ」、「アザミウマ類」を掲載。
												③	③	③		防除指針では「アブラムシ類」を掲載。	
4A	ジノテフラン	アルパリン顆粒水溶剤	④	④									③	③	③		防除指針では「カメムシ類」、「アブラムシ類」を掲載。
							○									防除指針では「ハモグリバエ類」を掲載。	
4A	ジノテフラン	アルパリン粒剤											③	③	③		防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
									○							防除指針では「マメハモグリバエ」を掲載。	
4A	ジノテフラン	スタークル顆粒水溶剤	④	④									③	③	③		防除指針では「カメムシ類」、「アブラムシ類」を掲載。
							○									防除指針では「ハモグリバエ類」を掲載。	
4A	ジノテフラン	スタークル粒剤											③	③	③		防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
									○							防除指針では「マメハモグリバエ」を掲載。	
4A	チアメトキシサム	アクタラ顆粒水溶剤	○								○					防除指針では「ウスモンミドリカスミカメ」、「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。	
4A	ニテンピラム	ベストガード水溶剤									○		③	③	③		防除指針では「ミカンキイロアザミウマ」、「アブラムシ類」を掲載。
4A	ニテンピラム	ベストガード粒剤									○	○					防除指針では「マメハモグリバエ」、「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。
5	スピネトラム	ディアナス C										⑩	⑩				防除指針では「アザミウマ類」を掲載。
5	スピノサド	スピノエース顆粒水和剤	○								⑧	⑥					防除指針では「オオタバコガ」、「ハモグリバエ類」、「アザミウマ類」を掲載。
6	アバメクチン	アグリメック				⑪	⑪										防除指針では「ハダニ類」を掲載。
6	エマメクチン安息香酸塩	アフーム乳剤									⑥						防除指針では「アザミウマ類」を掲載。
6	ミルベメクチン	コロマイT水和剤					⑫										防除指針では「ハダニ類」を掲載。
11A	B T（生菌）	デルフィン顆粒水和剤	○														防除指針では「オオタバコガ」を掲載。
13	クロルフェナビル	コテツフロアブル	○			⑫					○						防除指針では「オオタバコガ」、「ハダニ類」、「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。
15	ノバルロン	カウンター乳剤									⑥						防除指針では「アザミウマ類」を掲載。
15	フルフェノクスロン	カスケード乳剤									○	○					防除指針では「マメハモグリバエ」、「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。
15	ルフエヌロン	マッチ乳剤									○	⑥					防除指針では「マメハモグリバエ」、「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。
17	シロマジン	トリガード液剤									⑬						防除指針では「マメハモグリバエ」を掲載。

○きく（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	オオタバコガ	ウスモンミドリカスミカメ	カシキリハダニ	ナミハダニ	ハモグリバエ類	アシクロハモグリバエ	トマトハモグリバエ	マメハモグリバエ	ミカンキイロアザミウマ	その他のアザミウマ類	モモアカアブラムシ	ワタアブラムシ	その他のアブラムシ	ヨトウムシ類	ハスモンヨトウ	備考
18	テブフェノジド	ロムダンフロアブル	○														○	防除指針では「オオタバコガ」、「ハスモンヨトウ」を掲載。
20B	アセキノシル	カネマイトフロアブル			⑫	⑫												防除指針では「ハダニ類」を掲載。
20D	ビフェナゼート	マイトコーネフロアブル				○												防除指針では「ナミハダニ」を掲載。
21A	ピリダベン	サンマイトフロアブル			⑫													防除指針では「ハダニ類」を掲載。
21A	フェンピロキシメート	ダニトロンフロアブル			⑭													防除指針では「ハダニ類」を掲載。
25A	シエノピラフェン	スターマイトフロアブル			⑫	⑫												防除指針では「ハダニ類」を掲載。
28	フルベンジアミド	フェニックス顆粒水和剤	○														○	防除指針では「オオタバコガ」、「ハスモンヨトウ」を掲載。
30	フルキサメタミド	グレース乳剤				⑫					⑥							防除指針では「ハダニ類」、「アザミウマ類」を掲載。
UN	ピリダリル	ブレオフロアブル	⑬															防除指針では「オオタバコガ」を掲載。
21A, F:39	トルフェンピラド	ハチハチ乳剤					⑧	⑧	⑧	⑧	⑥	③	③	③				防除指針では「ハモグリバエ類」、「アザミウマ類」、「アブラムシ類」を掲載。
5/18	スピノサド／メトキシフェノジド	ファルコンエースフロアブル	○								⑥	⑥						防除指針では「オオタバコガ」、「アザミウマ類」を掲載。

①ただし、30kg/10aまで

②灌水チューブを用いた灌注処理

③アブラムシ類での登録

④カメムシ類での登録

⑤キクヒメヒゲナガアブラムシでの登録

⑥アザミウマ類での登録

⑦花き類・観葉植物（ストック、りんどうを除く）、アザミウマ類での登録

⑧ハモグリバエ類での登録

⑨花き類・観葉植物、アブラムシ類での登録

⑩花き類・観葉植物（りんどうを除く）、アザミウマ類での登録

⑪花き類・観葉植物（ガーベラを除く）、ハダニ類での登録

⑫ハダニ類での登録

⑬花き類・観葉植物での登録

⑭花き類・観葉植物、ハダニ類での登録

注）同名の剤であっても農業会社によっては登録内容が異なることもあるので、使用する際は農業の容器（袋）のラベルを確認する。

2) カーネーション

(1) 耕種的防除法等

病 害 虫 名	防 除 適 期	防 除 方 法	備 考
萎凋細菌病	挿芽前 生育中	○ 挿芽床、仮植床、定植床の土壌消毒を行う。 (「土壌消毒」の項 参照) ○ 連作しない。 ○ 発病株から挿穂を取らない。 ○ 発病株は、抜き取って適切に処分する。	
黒 斑 病	植付時 生育中	○ 密植を避ける。 ○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 罹病葉は早めに摘み取る。 ○ 摘心直後の降雨は発生を早める。	
さ び 病	挿芽前 植付時 生育中	○ 発病株から挿穂を取らない。 ○ 排水を図り過湿を避ける。 ○ 窒素質肥料の過用を避ける。 ○ 被害葉は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。	○ 赤系の品種は汚れが目立ちやすいので、その日の採花が終わってから散布する。
立 枯 病	挿芽前 定植時及び 活着後 生育中	○ 挿芽床、仮植床、定植床の土壌消毒を行う。 (「土壌消毒」の項 参照) ○ 連作しない。 ○ 発病株から挿穂を取らない。 ○ 発病株は、抜き取って適切に処分する。 ○ 花き類の登録薬剤を処理してもよい。 (「花き類・観葉植物の登録」の項 参照)	
灰色かび病	生育中	○ 施設栽培では、過湿にならないように管理する。 ○ 被害枝、花は早めに取り除く。	○ 品種によって薬害が生じる場合があるので注意する。
斑 点 病	生育中	○ 過度の灌水をしない。	○ ダコニール1000は花卉に薬液が付着すると漂白、退色などによる斑点を生じるおそれがあるので、着色期以降の散布は避ける。
モザイク病	植付前 生育中	○ 無病株から挿芽を取る。 ○ 採穂用親株は、寒冷紗で被覆する。 ○ アブラムシ類を防除する。	

(2) 農薬の使用法

○カーネーション(殺菌剤)

FRAC コード	有効成分名	薬剤名	さび 病	立 枯 病	灰 色 か び 病	斑 点 病	備考
32	ヒドロキシイソキサゾール カリウム	タチガレン液剤		○			
7	メブロニル	バシタック水和剤75	○				
19	ポリオキシン複合体	ポリオキシンAL乳剤				○	
M1	DBEDC	サンヨール			①		●花き類・観葉植物(きく、ばら、ペチュニア、スター チス、プリムラ、パンジーを除く)での登録 ●灰色かび病のみ採用
M3	マンネブ	エムダイファー水和剤	○				
M5	TPN	ダコニール1000				②	●花き類・観葉植物(ばら、きく、チューリップ、ゆ り、りんどうを除く)での登録 ●斑点病のみ採用
M3、 I:UN	マンゼブ	ジマンダイセン水和剤	○				●さび病のみ採用

①花き類・観葉植物(きく、ばら、ペチュニア、スターチス、プリムラ、パンジーを除く)での登録

②花き類・観葉植物(ばら、きく、チューリップ、ゆり、りんどうを除く)での登録

○カーネーション（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	アザミウマ類	ハダニ類	備考
1B	MEP	スミチオン乳剤	○		防除指針では「アザミウマ類」を掲載。
2A	ジェノクロル	ペンタック水和剤		①	防除指針では「ハダニ類」を掲載。
20B	アセキノシル	カネマイトフロアブル		○	防除指針では「ハダニ類」を掲載。
UN, F:M10	キノキサリン系	モレスタン水和剤		○	防除指針では「ハダニ類」を掲載。

①施設栽培での登録

注）同名の剤であっても農薬会社によっては登録内容が異なることもあるので、使用する際は農薬の容器（袋）のラベルを確認する。

3) ストック

(1) 耕種的防除法等

病 害 虫 名	防 除 適 期	防 除 方 法	備 考
萎 凋 病	播種前	○ 土壌消毒を行う（「土壌消毒」の項 参照）。	
菌 核 病	生育中	○ 施設では、換気を図り過湿を避ける。 ○ 発病株は抜き取り、適切に処分する。	○ 着蕾期以降は汚れを避けるため散布しない。
灰色かび病	生育中	○ 風通しを良くし、多湿にならないように管理する。 ○ 発病葉、蕾、花は除去する。	○ 着蕾期以降は汚れを避けるため散布しない。
モザイク病	生育中	○ 幼苗期に寒冷紗で被覆する。 ○ アブラムシ類を防除する。 ○ 被害株は早期に抜き取り、適切に処分する。	

(2) 農薬の使用方法

○ストック（殺菌剤）

FRAC コード	有効成分名	薬剤名	菌核病	灰色かび病	備考
1	チオファネートメチル	トップジンM水和剤	①		花き類・観葉植物(トルコギキョウを除く)での登録

①花き類・観葉植物(トルコギキョウを除く)での登録

○ストック（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	ア オ ム シ	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ガ	備考
1A	ベンフラカルブ	オンコル粒剤 5			○	防除指針では「コナガ」を掲載。
4A	アセタミプリド	モスピラン顆粒水溶剤		○		防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
6	エマメクチン安息香酸塩	アフーム乳剤			○	防除指針では「コナガ」を掲載。
11A	B T（生菌）	ゼンターリ顆粒水和剤			○	防除指針では「コナガ」を掲載。
11A	B T（生菌）	チューリサイド水和剤			○	防除指針では「コナガ」を掲載。
11A	B T（死菌）	トアロー水和剤 C T			○	防除指針では「コナガ」を掲載。
13	クロルフェナピル	コテツフロアブル	○		○	防除指針では「アオムシ」、「コナガ」を掲載。
15	テフルベンズロン	ノーモルト乳剤	○		○	防除指針では「アオムシ」、「コナガ」を掲載。

4) シクラメン

(1) 耕種的防除法等

病 害 虫 名	防 除 適 期	防 除 方 法	備 考
萎 凋 病	生育中	○ 土壌が過湿にならないように管理する。 ○ 被害株は、早めに除去する。	
炭 疽 病	生育中	○ 葉や花に汚れを生じる場合があるので、必ず展着剤を加用する。	
軟 腐 病	生育中	○ 発病株は集めて、適切に処分する。 ○ 室内の換気を図り、高温多湿を避ける。	
灰色かび病	生育中	○ 通風をよくし、多湿にならないように管理する。 ○ 発病葉、蕾、花は除去する。	
葉腐細菌病	鉢上げ時	○ 発病株は集めて、適切に処分する。	○ キノンドー水和剤40及びキノンドー水和剤80は、葉及び花弁にかからないように注意する。
モザイク病	生育中	○ アブラムシ類を防除する。	

(2) 農薬の使用方法

○シクラメン (殺菌剤)

FRAC コード	有効成分名	薬剤名	炭疽病	軟腐病	灰 色 か び 病	葉腐細菌病	備考
1	チオファネートメチル	トップジンM水和剤			○		
M1	有機銅	オキシンドー水和剤 80	○				
M1	有機銅	キノンドー水和剤 40				○	
M1	有機銅	キノンドー水和剤 80				○	
M1	有機銅	キノンドーフロアブル				○	葉腐細菌病のみ採用
M3、 I:UN	マンゼブ	ジマンダイセン水和剤	○				
25/M1	ストレプトマイシン硫酸塩／有機銅	ドーマイシン水和剤		○			
41/25	オキシテトラサイクリン／ストレプトマイシン硫酸塩	アグリマイシン－100				○	
						○	

○シクラメン（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	ミ カ ン キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	備 考
14	カルタップ	パダンSG水溶剤	○	防除指針では「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。
14	チオシクラム	エビセクト水和剤	○	防除指針では「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。

5) ば ら
(1) 耕種的防除法等

病 害 虫 名	防 除 適 期	防 除 方 法	備 考
うどんこ病	生育中	○ 窒素肥料が過多にならないようにする。	○ サプロール乳剤及びサンヨールは品種により高温乾燥時に葉害を生じることがあるので注意する。
枝 枯 病	休眠期 生育中	○ 発病枝は切り取り、適切に処分する。 ○ 被害枝は抜き取り、適切に処分する。	
黒 星 病	休眠期 生育中	○ 剪定時に病枝を剪除するとともに、被害葉も集めて、適切に処分する。 ○ 展葉中の若葉が侵されやすいので、萌芽期から枝の伸長期を重点に降雨の前後に十分散布する。	
根頭がんしゅ病	生育中	○ 無病苗を選んで植付ける。 ○ 発病株は早めに抜き取り、適切に処分する。 ○ 罹病株の根や枝を切り取った刃物は、熱湯で消毒する。	
さ び 病	休眠期 生育中	○ 剪定時に伝染源となる古い病患部を切り取る。 ○ 発病枝葉は早めに切り取る。 ○ 施設栽培では、夜間湿度が高すぎないように注意する。	
灰色かび病	生育中	○ 施設栽培では、過湿にならないように管理する。 ○ 被害枝、花は早めに取り除く。	
べ と 病	休眠期 生育中	○ 剪定時に病梢を切り取る。 ○ 過湿にならないようにする。 ○ 病葉や病梢は早めに切り除き、適切に処分する。	

(2) 農薬の使用法

○ばら (殺菌剤)

FRAC コード	有効成分名	薬剤名	うどんこ病	黒星病	さび病	灰色かび病	べと病	備考
1	チオファネートメチル	トップジンM水和剤	○	○				
39	ジフルメトリム	ビリカット乳剤	①					●花き類・観葉植物（きく、宿根かすみそう、りんどうを除く）での登録
9	メバニピリム	フルピカフロアブル	○	○				●うどんこ病、黒星病のみ採用
3	トリフルミゾール	トリフミンジェット	○					—
3	トリフルミゾール	トリフミン水和剤	○					
3	トリホリン	サブロール乳剤	○	○				—
3	ミクロブタニル	ラリー乳剤	○					●うどんこ病のみ採用
19	ポリオキシシン複合体	ポリオキシシンA L 乳剤	○					
NC	炭酸水素カリウム	カリグリーン	②					●花き類・観葉植物（きくを除く）での登録
M1	D B E D C	サンヨール	○					●うどんこ病のみ採用
M3、 I:UN	マンゼブ	ジマンダイセン水和剤		○	○	○	○	
M3	マンネブ	エムダイファー水和剤			○	○	○	—
M5	T P N	ダコニール1000		○				●黒星病のみ採用
M10、 I:UN	キノキサリン系	モレスタン水和剤	③					●花き類・観葉植物（カーネーションを除く）での登録

①花き類・観葉植物（きく、宿根かすみそう、りんどうを除く）での登録

②花き類・観葉植物（きくを除く）での登録

③花き類・観葉植物（カーネーションを除く）での登録

○ばら（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	ア ブ ラ ム シ 類	ナ ミ ハ ダ ニ	ミ カ ン キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	備考
1B	C Y A P	サイアノックス乳剤	○			防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
1B	M E P	スミチオン乳剤	○			防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
2A	ジエノクロル	ペンタック水和剤		①		防除指針では「ハダニ類」を掲載。
3A	ペルメトリン	アディオフロアブル	○			防除指針では「アブラムシ類」を掲載。
4A	アセタミプリド	モスピラン顆粒水溶剤			②	防除指針では「アザミウマ類」を掲載。
6	ミルベメクチン	コロマイト水和剤		③		防除指針では「ハダニ類」を掲載。
15	フルフェノクスロン	カスケード乳剤			○	防除指針では「ミカンキイロアザミウマ」を掲載。

①施設栽培，ハダニ類での登録

②花き類・観葉植物（ストック，りんどうを除く），アザミウマ類での登録

③ハダニ類での登録

6) パンジー
(1) 耕種的防除法等

病 害 虫 名	防 除 適 期	防 除 方 法	備 考
根 腐 病	定植前 生育期	○ 土壌消毒を行う。 ○ 被害株は抜き取り、適切に処分する。	
灰色かび病	生育中	○ 通気をよくする。 ○ 発病した花卉や葉は早めに摘み取る。	

(2) 農薬の使用方法

○パンジー（殺菌剤）

FRAC コード	有効成分名	薬剤名	灰色 かび病
M1	D B E D C	サンヨール	○

（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	アブ ラム シ類	備考
4A	ニテンピラム	ベストガード粒剤	①	防除指針では「アブ ラムシ類」を掲載。

①花き類・観葉植物（きく、きんせんかを除く）での登録